

阪堺線活性化推進懇話会資料 (抜粋)

■支援策前（H22年）に募集した市民提案による活性化策の取組状況

項目		進捗状況	
利用者増加	運賃政策（1区間運賃化、高齢者割引等）	H23年1月～ H24年3・4月	運賃均一化・高齢者運賃割引を実施 期間限定で同伴小学生無料キャンペーン実施
	バスとの乗継利便の向上	H23年3月～ H25年3月～	堺おもてなしチケット（ゾーンチケット）発売 阪堺線との乗継バス停留所整備（花田口停留場付近）
	パークアンドライド、 サイクルアンドライド	H24年3月 H27年春	サイクル&ライド無料駐輪場設置（妙国寺前駐輪場） コミュニティサイクルポート設置（堺伝統産業会館） パークアンドライド設置（堺市立歴史文化にぎわいプラザ）
高度化による利便性の向上	低床式車両の導入	H24年度 H25年8月 H25年11月	低床式車両の整備 低床式車両のネーミング公募（堺トラム） 軌道の老朽化対策の促進（約1,800mの軌道改修必要） 低床式車両の導入に合わせ改修を実施 低床式車両運行開始（我孫子道～浜寺駅前間） 低床式車両の2編成目の呼称公募
	ICカードの導入	H26年春	スルッとKANSAI IC決済サービス「PiTaPa」（ピタパ）を導入
	電車優先信号等	H23年度～	定時性・速達性を高める手段を検討
	停留場の増設、施設改善（バリアフリー化等）	H23年 H24年3月 H26年秋 H27年春	停留場の新設について候補箇所の絞り込みを実施 御陵前停留場の美装化実施 停留場ナンバリング開始 新設停留場増設予定 宿院停留場改修予定

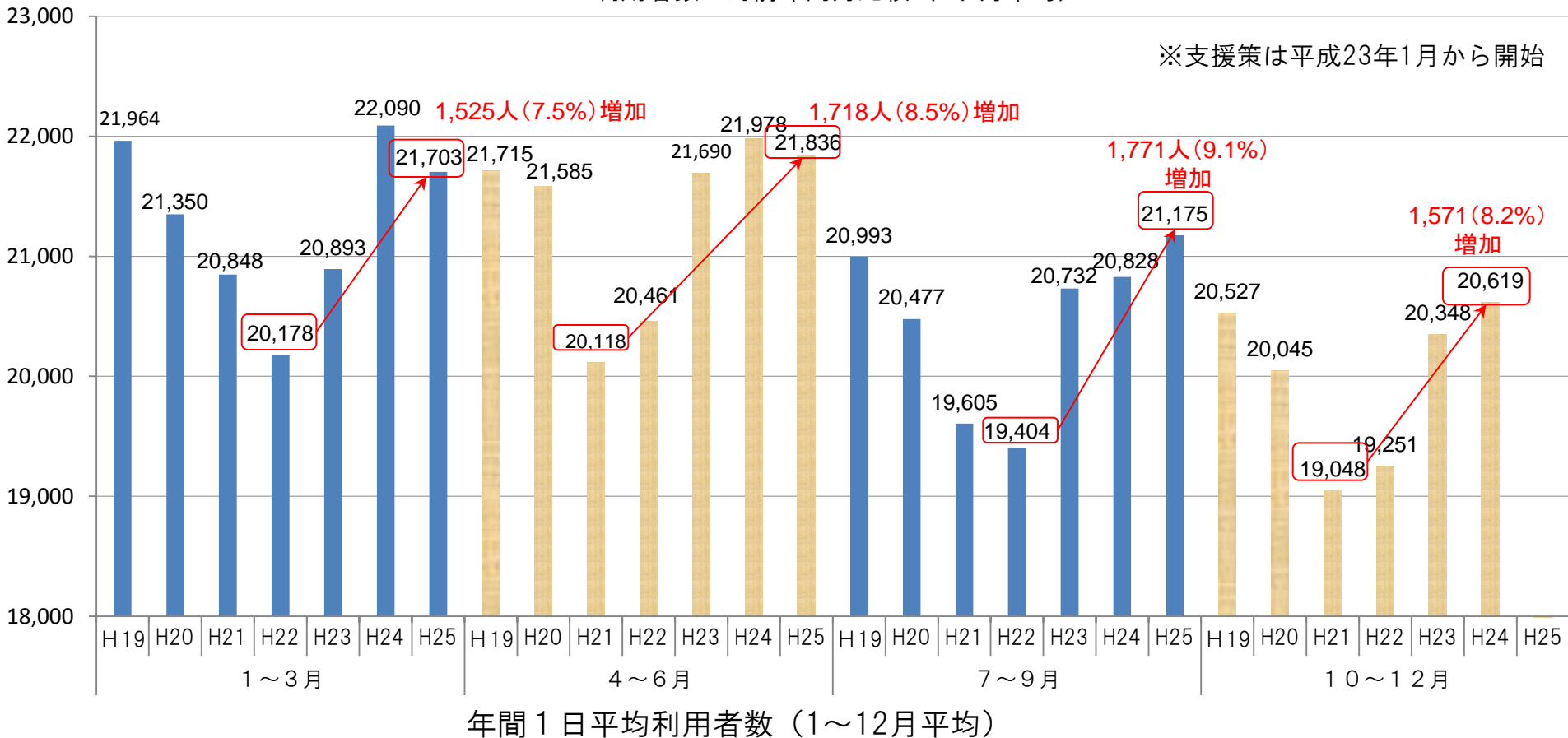
阪堺線の再生・活性化に向けた取組み

項目		進捗状況	
営業支援他	イベントとの連携、ツアーの誘致	H23年1月～ 7月 12月 H24年4月 H25年7・8月 H25年8月	福助電車等の各種イベント・ツアーを実施 沿線イベント等にて阪堺グッズ販売を実施 震災被災者向けのチン電ツアー開催 阪堺線開通（恵美須町～大小路）100周年記念イベント実施 阪堺線開通（全線）100周年記念イベント実施 堺トラム試乗会を実施 堺トラム営業運行開始セレモニー実施
	メディア活用によるPR	H23年1月～ 10月 11月 12月 H24年5月 H24年11月 H25年8月 H25年11月	広報番組や広報誌等によるPRを実施 東京・さかい交流会において阪堺線PR 阪堺・南海まちあるき「歩の歩のマップ」発行 低床式車両のデザイン公募 低床式車両のネーミング公募（堺トラム） 全国路面電車サミットを開催 低床式車両運行開始（我孫子道～浜寺駅前間） 低床式車両の2編成目の呼称公募
	商業、観光施設との連携	H23年3月 6月 H24年3月 H24年11月 H25年3月	堺おもてなしチケットにて37施設等との連携を実施 レトロ車両の復元 停留場への観光施設の案内地図を設置 堺おもてなしチケットの協力店舗、販売店舗の拡大を実施 天王寺駅前停留場への観光施設の案内地図を設置
	キャラクター・グッズの活用	H23年6月 11月 H24年度	新キャラクター「ちん電くん」を作成、グッズを開発 チン電くんの沿線幼稚園訪問 チン電くんの観光部長就任セレモニー実施 低床式車両のグッズ開発
市民協働	ボランティア、市民・行政・事業者の継続的な連携を図る仕組み	H23年8月～ H24年11月 H25年11月	未来へつなごう！堺チン電の会（事務局を堺市移管） 全国路面電車サミットを開催 堺ちん電フェスティバル2013を開催

全路線（阪堺線、上町線）の利用者数

・3ヶ月毎の平均利用者数を年別に見た場合、最も利用者数の少ない時に比べ、増加率が7.5～9.1%となっている。

(人/日) 利用者数の対前年同月比較 (3ヶ月平均)



	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
1日平均利用者数	21,362	20,866	19,904	19,823	20,916	21,378	21,473
対前年の増減	-	-495	-962	-81	1,093	462	95
対19年比	1	0.977	0.932	0.928	0.979	1.001	1.005

※H25年は、1月～11月までの利用者数を使用
※支援策開始後

■ 高齢者割引が適用されていない日の65歳以上利用者数

518人/日（堺市民・定期外、平成23年10月平日のOD調査）

675人/日（堺市民・定期外、平成24年10月休日のOD調査）

$518人/日 \times 245日 + 675人/日 \times 120日 = 207,910人/年 \approx 20.8万人/年$

■ 五十日（約71日）利用時のおでかけ応援カード利用者数（平成23年1月15日開始）

平成23年度おでかけ応援カード利用者数 平日：875人/日 休日：920人/日

平成24年度おでかけ応援カード利用者数 平日：1,179人/日 休日：1,054人/日

$(1,179人/日 \times 49日 + 518人/日 \times 196日) + (1,054人/日 \times 22日 + 675人/日 \times 98日)$

$= 248,637人/年 \approx 24.8万人/年$

■ 高齢者運賃割引利用日拡充後（約245日）の応援カード利用者数（平成25年7月1日）

・ 五十日 ⇒ 平日（土日祝、年始を除く）

996人/日（堺市民・定期外、平成25年8月・9月平日の調査）

$996人/日 \times 245日 + 518人/日 \times 120日 = 306,180人/年 \approx 30.6万人/年$

■ 高齢者割引に伴う利用者増加の状況

	適用日外	五十日	平日拡充
適用日数	0日	71日 (1)	245日 (3.4)
年間利用人数	20.8万人	24.8万人	30.6万人
利用人数比	1	1.2	1.4

■ 阪堺線沿線には特色のある施設が展開されつつある。



ボランティアで行っている堺観光の休憩所



紙雑貨をテーマにしたカフェ

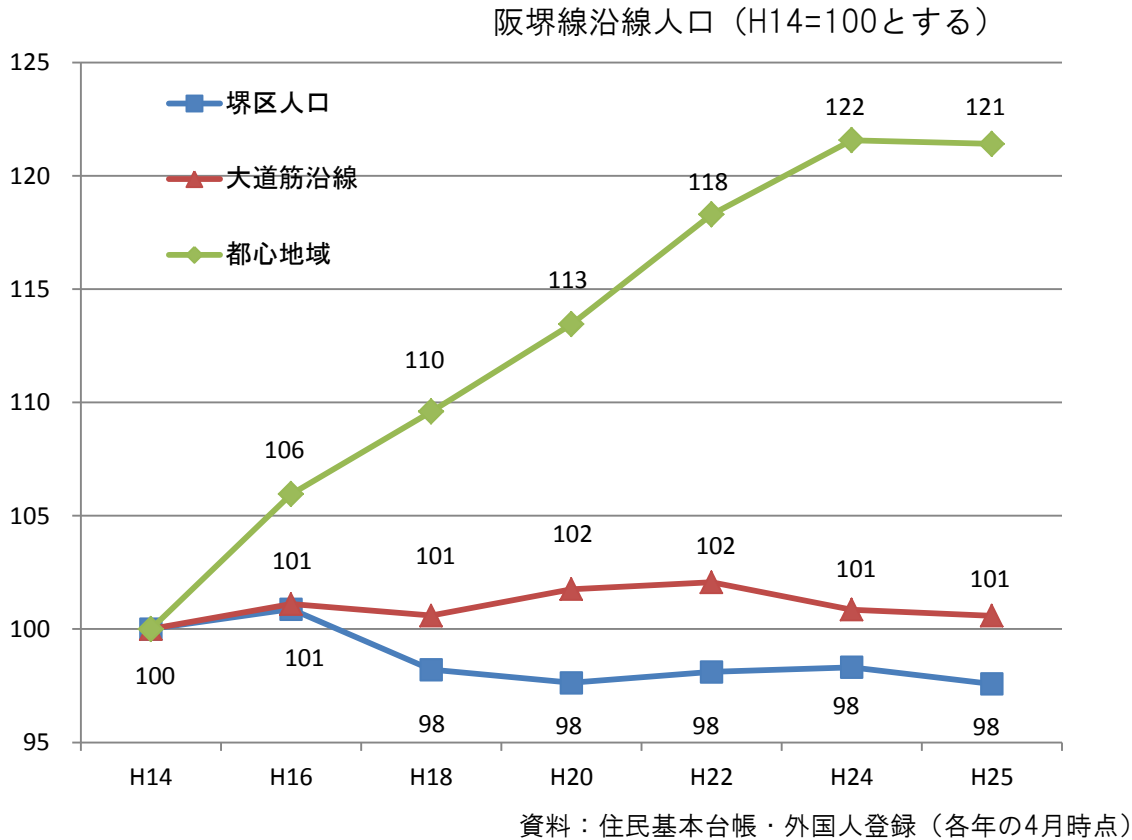


古い町屋を改装したお茶をテーマにしたカフェ



堺区役所と連携してオープンカフェの社会実験を行っているカフェ

■阪堺線沿線ではマンション建設も進んでいる。



※都心地域：堺東駅～堺駅、大和高田線～中央環状線内にある町を抽出
 大道筋沿線：綾ノ町停留場～御陵前停留場沿線の町を抽出

沿線マンション新築



宿院交差点



ザビエル公園南側

<中間検証時期>

阪堺線への支援開始、平成22年10月の5年後にあたる27年度に中間検証を実施。

<中間検証のポイント>

①阪堺線の自立再生の目途

○利用者増加数

○経営改善効果

- ・収入構造（運輸収入、広告収入、資産活用等）
- ・支出構造（人件費等）

②堺市の活性化への寄与

○観光誘客

○地域活性

- ・沿線市民への波及
- ・沿線まちづくり
- ・立地促進
- ・人口増加

○プロモーション効果

- ・マスコミ広報（観光誘客・地域活性のPRを含む）
- ・公共交通活性化促進基金の状況

③支援策前に募集した市民提案による活性化策の実現度

④他の路面電車事業者との比較

利便性の向上・沿線活性化



利用者増



収支改善

<中間検証までのスケジュール>

平成26年度 検証項目に必要な調査

平成27年度 中間検証